



CareWizトルト

# 体験参加者にトルトを活用して ご利用者を獲得する



トルトを活用した体験会の方法

体験利用から、本利用を促すときにトルトを活用し、[成約率が上がる使い方をまとめました。](#)

[導入を検討されている方も、既に導入済の方も現場におけるトルト運用のご活用ください。](#)

1. なぜトルトが体験時に有効なのか？
2. 体験会活用への6ステップ
3. 導入事例

なぜトルトが体験時に有効なのか？



体験時など限られた機会では、施設や運動の効果を伝えるには目で見れるわかりやすいものが必要です

- ・ 事業所の魅力がなかなか伝わらない、利用者さんに納得いく説明ができない
- ・ 利用者、家族、ケアマネへ渡せる材料が不足している
- ・ 参加者が他事業所の体験へ行き、他事業所で本利用となる

【トルトを活用すると】

- 数字で可視化できるので今の身体機能を理解しやすい=危機感をもっていただく
- 体験利用時、運動の効果が見える化できる=即時効果の実感
- ケアマネや家族に根拠をもって報告しやすい=本人へ利用促進を促してもらえる



体験時に分析結果を見せることで、運動などの効果を目で伝えられる。  
限られた機会に、わかりやすく取り組みを根拠をもって説明できる



## まずは、「お試しグループ」にご利用者を新規登録してください

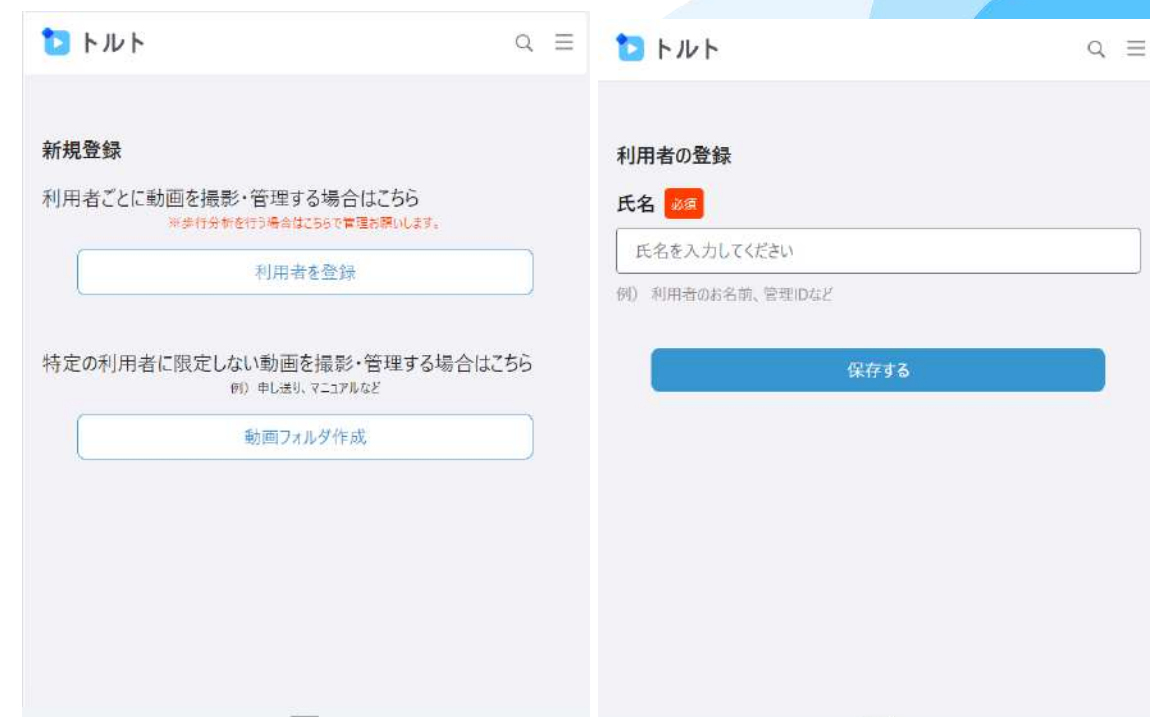
歩行分析を行うためには、「利用者を登録」を行う必要があります。利用者がわからない場合は適当に名前をつけても問題ありません。後から変更することが可能です。

### ①グループの作成

(予めお試しグループができていますのでこちらを利用できます。)



### ②新規登録から利用者名の入力



## 来所時に、アセスメントを行い目標を設定

現状の課題を把握した上でご利用者にあった目標を設定し、通うことのゴールイメージをつけていただく

### ①ヒアリング → ②機能評価 → ③目標設定

- ご本人及びご家族の希望  
日常生活でお困りのことなどから、  
「できるようになりたいこと  
(できそうでできないこと)」は何か？
  - 既往歴
  - 現病歴
  - 趣味等
- 改善したい動作・姿勢
  - 運動によつての痛みの有無
  - 可動域などの確認
- 通うことで達成できる  
目標設定

## 撮影前に必ずトルトの説明と同意取得を行う

### トルトの説明を行う

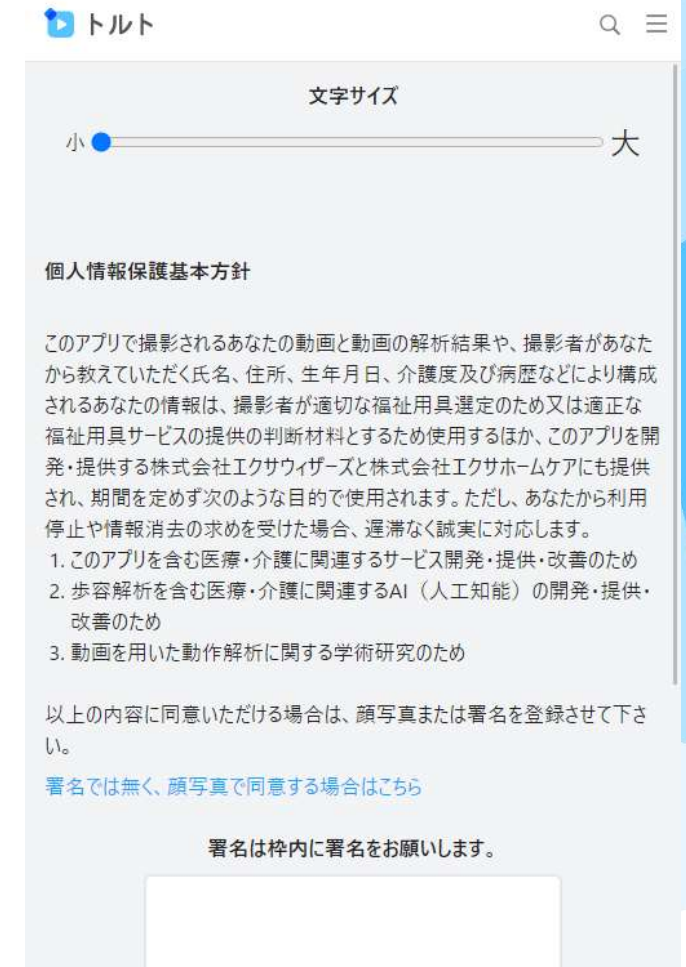
【受入れられやすい実際のトーク例】

- 現状の歩行状態や転倒の危険性がないか測定させてください。
- ただまっすぐ歩いていただくだけで良く、A I が転倒の危険度を判定してくれるものになります。
- ご自身の歩行状態も動画で見れるので良いきっかけになりますよ。

### 撮影にあたっての個人情報を説明し同意を取得する

#### 同意取得方法

- ① スマホ/タブレットに直接記入
- ② 顔写真の撮影 ※弊社特許



同意取得画面

測定後にコミュニケーションシートをタブレットで提示または印刷し、利用者や家族へ提示。

【説明順番】

- ① 「今回の注目ポイント」「総合コメント」でできていることを説明する（ここではできているという褒めポイント）
- ② 点数と「改善ポイントの説明」「●●に注意と出ているので、この部分を生活上でも注意しましょう」
- ③ 転倒リスクの説明  
転倒リスクも●色なので注意しましょう/維持しましょう



## 分析結果をもとに、実際の運動/体験メニューの提案&実施

歩行状態を可視化し、運動の必要性を伝えてみましょう！実際に動画を見ていただくのも有効です！  
運動が習慣化していない方は簡単なストレッチ等でも歩行状態が変化します。

### ①体験の促し ————— 30分程度の運動実施 —————> ②再度トルトの撮影

- 先ほどの結果から、●●とでていたので、ここでの運動や生活で改善していきましょう。
- 効果がでるかもしれないので、まずは少し運動を行きましょう！
- 先ほどの結果と変化があったかどうかもう一度AIでの歩行解析を試みましょう



## 来所時の歩行動画/コミュニケーションシートを提示・比較しながらフィードバックを実施

### ①点数が上がった場合

- この短時間でこれだけ良くなったことを提示。
- さらにこのまま運動を習慣することにより、身体機能の向上/維持ができることを説明

### ②結果が変わらない場合

- 短時間で効果はあまりでないかもしれないが、徐々に運動を積み重ねることが大事であることを説明

### ③結果が低下した場合

- 測定が同一環境下でできているか確認
- 痛みの有無の確認（悪化の可能性あり）
- 疲労度を確認し、負荷が高くなかったかどうかを確認



## 実際に通い、今後の生活が豊かになることを想定していただく

### ①ヒアリング

- 体験してみてどうだったかの反応を伺う

### ②事業所概要説明

- コンセプトの説明
- 一日の流れ
- 実際のメニューの紹介
- 男女比

### ③目標設定の再確認

- 通うことで達成できる目標の再確認

### ④コミュニケーションシートの再提示

- 毎月定期的に観測して、メニューの調整を行うことの説明
- 家族のメールアドレスを可能であれば取得

### ⑤利用回数の決定

- シートの転倒リスクマップを見せながら、緑→2回、黄色・赤→3回など適正な利用回数を促す

### ⑥退所

- 解析結果をお渡しし、ご家族へも可能であればシートを見てもらうことをおすすめする

体験対応終了後、速やかにケアマネへ動画共有することが大切です。（歩行と可能であればそれ以外の動作も）  
共有後、電話連絡をして本人の感想を伝達すると、さらに伝わりやすくなります！

# 運動効果が見える化され、新規利用者の増加や利用者の意欲・満足度向上

## トルトの活用方法

- 体験時に撮影し、現状把握と運動効果の実感に活用

## トルトの導入効果

- 新規利用者の増加に貢献
- 日々取り組んでいる運動の効果を効率的に伝えることが可能
- ケアマネジャーの理解促進につながり、連携時間を格段に効率化



株式会社 未来図Labo デイサービス未来図

トルトで運動効果が見える化されることで、新規利用者の増加や利用者の意欲・満足度向上へ

デイサービス/デイケア 科学的介護の実施 多職種連携

ご利用者の新規獲得

他にトルトに関する活用方法はこちらでも  
紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://product-faq.qontextual.jp/user/dirfaq?directoryId=23304&orderBy=2#toruto>